

令和2年度 第2回 小熊小学校運営協議会 紙面会議 議事録

令和2年10月30日

- ・環境の変化に伴い、私自身の関りが減り、学校の状況や情報が分からないところが正直なところではあります。青少年育成推進員として、「このままがよい」とならないように活動したいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染防止対策に加えて、熱中症対策と大変な状況下で、難しい学校運営ですね。ありがとうございます。
- ・コロナ渦にあって、従来通りの教育課程で教育活動ができないことで、先生方は本当にご苦勞をされていると察します。今年初任として赴任された先生方も、教職員としての年間の教員生活の流れがつかめず、次年度以降も苦勞されるのではないかと思います。
児童生徒たちにとっては、いろいろな行事が無くなったり簡素化されたりして、特別活動で学ぶべきことが十分に学べないことは、大きな痛手であろうと思います。心身を開放し、ともに活動して感動を共有するような行事が無くなることで、いろいろなストレスが溜まって、問題行動につながらないかと心配しています。教科の学習の遅れよりも、むしろこういった特別活動の欠落のほうが、児童生徒の今後の成長に与える影響は大きいのではないかと心配です。
- ・先生方の保健衛生面での気配りも大変だろうと察します。PTAはじめ外部人材でもできることがあれば、学校から遠慮なく声をかけていただければと思います。(外部の人間が介入することで先生方の精神的な負担が増えてもいけません。・・・)
- ・このような中で計画に沿って防災教育の実践をしておられることに感謝いたします。防災の知識や知恵を学ぶと同時に、コロナ感染者に関しても災害被災者に関しても、差別的な見方、偏見、風評で人を傷つけるようなことが無いよう、人権教育を基盤に防災教育を進めていただけることが、学校教育では一番大切ではないかと思います。引き続き、よろしく申し上げます。
- ・保護者以外の町民の方に、小学校の現状を理解してもらいたい意味からも町民対象の授業参観日や清掃活動日等を設けて、地域住民と共生する開かれた小学校を目指したらどうでしょうか。

